

町田市教育に関する総合的な施策の大綱(素案)の市民意見募集実施結果について

貴重なご意見をお寄せいただきありがとうございました。お寄せいただいたご意見につきましては、大綱策定に向けた検討の中で参考とさせていただきます。

1 意見の募集期間

2018年10月1日(月)～2018年10月31日(水)

2 意見の募集方法

- (1) 企画政策課、市民相談室、市政情報課、各市民センター・連絡所、各コミュニティセンター、各図書館、町田市民文学館、男女平等推進センター、生涯学習センター、教育センターでの資料の閲覧及び配布
- (2) 市ホームページへの資料の掲載
- (3) 広報まちだ2018年10月1日号への募集概要の掲載

3 いただいたご意見の内容

6名の方から29件のご意見をいただきました。ご意見の要旨とそれに対する市の考え方は以下のとおりです。

	ご意見の分類	ご意見	市の考え方
1	教育行政及び教育全般に関する意見	子どもたちに、今後大きく変化していく社会に対応できる力を育ていくために、教育委員会と市長が目線を合わせ、取り組みを進めてほしい。	大きく変化する社会状況に対応し、未来を切り拓く力を子どもたちに育むよう、教育委員会と連携を深め、取組を進めてまいります。
2	教育行政及び教育全般に関する意見	町田市として目指す姿を明確に示してほしい。	教育委員会や市の各部署が、教育の振興のために各施策を進める際に、目標とすべきまちの姿を基本理念として示しております。
3	教育行政及び教育全般に関する意見	社会が大きく変革する時代には、必要となる能力も変化するので、社会の流れに対応した教育という視点が大切。	激変する社会に対応する能力を子どもたちに育むことは重要であり、社会の流れに対応した教育の視点を持ち、施策を進めてまいります。
4	基本理念に関する意見	「夢を描き」ではなく、「夢を見つけられ」とすべき。	ご意見につきましては、検討の際の参考とさせていただきます。

5	基本方針Ⅰに関する意見	学力低下は、ひとえに日本語力の退化にその原因がある。	学力低下につきましては、日本語力の問題のみならず、学校教育、家庭、地域及び社会全体の問題が、互いに関連して影響を及ぼしているものと考えます。学力向上に向け、取り組んでまいります。
6	基本方針Ⅰに関する意見	多様な価値観を大切にする教育を行ってほしい。	家庭環境の変化やグローバル化の進展などにより、人々の価値観が多様化しています。このような状況で、他者と協働していくためには、多様な価値観を受け止め、理解することが重要であると認識しております。
7	基本方針Ⅱに関する意見	「より良い学習環境を整備する」として、学校の適正規模・適正配置を進めることが挙げられるのは馴染まない。エアコンやトイレの維持、照明のLED化などが適切。	エアコン、トイレにつきましては、引き続き適切な維持に取り組むとともに、照明につきましても、大規模改修にあわせLED化を進めてまいります。学校の適正規模・適正配置につきましては、今後想定される児童・生徒数の減少を踏まえ、良好な学習環境を維持するために検討が必要であると考えております。
8	基本方針Ⅱに関する意見	「一人ひとりのニーズに即した様々な選択肢を提供する」ということを教育大綱に謳ってもらうことは、障がいのある子を持つ親として心強く感じる。	家庭環境や障がいの有無など、様々な状況に置かれた子どもが、それぞれに適した選択ができるよう、環境を整備してまいります。
9	基本方針Ⅱに関する意見	学校の経営力だけでなく、教員の質、指導力を高めるべき。	学校教育を支える大きな柱は教員であり、今後も、教員の指導力向上の取組を進めてまいります。
10	基本方針Ⅲに関する意見	「家庭教育支援の輪が地域に広がる」との表現が難しいため、この一文は不要。	ご意見につきましては、検討の際の参考とさせていただきます。
11	基本方針Ⅳに関する意見	「学び続け、学び直すことができる機会」との表現を「生涯にわたり、学ぶことができる機会」とすべき。	ご意見につきましては、検討の際の参考とさせていただきます。
12	基本方針Ⅳに関する意見	先人が育んできたのは歴史・文化資源であり、豊かな自然ではないので、「豊かな自然の恵みを受けながら、先人が育んできた歴史・文化資源」とすべき。	ご意見につきましては、検討の際の参考とさせていただきます。

13	基本方針Ⅳに関する意見	生涯学習の機会が増えることで新たに学ぶことができ、今までの経験と合わせ、地域の活性化に役立つ活動ができる。生涯学習を充実させてほしい。	市民の皆様の学ぶ意欲とこれまでのご経験が活かされるよう、生涯学習の機会を充実させ、一生涯にわたり活躍することができる環境を整備してまいります。
14	基本方針Ⅳに関する意見	子どもが自分らしくいきいきと育ち、それを見た地域の大人がいきいきと活躍し、地域全体がいきいきとしていく、という好循環を生み出す方針なのではないかと感じた。	
15	—	「町田市教育に関する総合的な施策の大綱(素案)」と「町田市教育プラン2019-2023」との関係において、両者が並立しているように見える。	
16	—	「保育サービス」や「学童保育」で待機者はいないのか。	
17	—	「小・中学校共に不登校の要因としては、「家庭に係る状況」が多くを占めている。」との記述があるが、その根拠が不明。	
18	—	「副校長補佐の配置」、「経営支援部の設置」とは何か、明らかでない。	
19	—	放課後学習の充実など、なぜその事業をするのかの説明がない。	
20	—	学校や地域の活動・施設について、子ども自身の要望を調査したり、取り入れた様子が見られない。	
21	—	事業を進めるための予算の裏付けがないこと、事業を進める担当者が明らかでないことから、教員、職員等に過重な負担を強いる恐れがある。	
22	—	学校の統廃合は、財政の観点からであり、「児童・生徒が良好な教育を受けられるよう」ではないことを明記すべき。	

23	—	「教員の資質・能力の向上」のために「道徳、プログラミング教育等の新たな課題に対応する研修・研究活動の充実」とあるが、保護者が教育に関する悩みとして「学力や学習状況」を最も多く挙げていることと乖離しているのではないか。
24	—	「いじめはいけないことだと思う」子どもの割合の目標値は100%であるべきだし、例えば、いじめ自殺が起こった時、「教職員間での情報共有が十分でなかった」で済ませることのないように望む。。
25	—	中学校全校への特別支援教室の設置は歓迎する。
26	—	図書館において、貸出希望が多い書籍については購入冊数を増やしてほしい。
27	—	社会的困難を抱えた方への学習事業数が増えるのは歓迎するが、同時に事業費も増額しなければ実質的な支援にならない。
28	—	無料で活用できる学校の教室を増やし、その情報を広げてほしい。また、市の施設の利用料を下げしてほしい。これらが、地域の学習支援の決めてだと思える。
29	—	防災拠点としての体育館にエアコンを設置してほしい。